



令和5年 飛躍の年に

校長 高瀬 智子

令和5年が始まりました。今年卯年です。「卯」という字は、左右に開かれた門の形からできたとされ、閉じていた門が開き「とび出る」という意味があるとされており、飛躍の年になるとも言われています。本校は、まさに令和5年に創立150周年を迎え、大きな節目を迎えます。

この節目を機会に、あらためて、これからの時代に学校が進むべき道を模索し、新しい時代に向けた学校となるよう、学校運営協議会、家庭、地域との連携のもと、子どもたちが生き生きと学び、生活し、自分の成長を実感できる学校を目指し、福生第一小が、ますます発展、飛躍の年となるようにしたいと思います。

創立150周年に関しては、先月、第1号の「150周年だより」にてお知らせしていますが、今後も取組についてお知らせしていきます。長い歴史によって培われた150周年という大きな節目を多くの皆さんで共有し、地域とともにある学校を一層進めたいと考えております。

さて、新しい年を迎え、子どもたちは期待に胸を膨らませると同時に、「こんなことをやってみたい。」「これができるようになりたい。」など夢や目標をもったことと思います。その夢や目標が叶うように努力をすることの大切さを改めて感じてほしいと思います。しかし、努力を続けることの大切さは、分かっていることではありますが、実際に行うのは容易なことではありません。大人でもなかなか難しく、努力を続けるのは自分との戦いであると言えます。子どもたちの姿を見守りながら、周りの大人が継続できるようにサポートすることが大切であると思います。

3学期が今日から始まります。3学期はその学年のまとめの時期でもあり、次の学年への準備の期間でもあります。6年生は小学校6年間の総まとめの時期であり、卒業、そして、中学生への意識をもつ時期です。1年生から5年生も次の学年へ意識を高めていく大切な学期です。それぞれ、2学期までの取組を振り返り、よいところは継承し、課題となるところは、よりよくなるよう取り組むことが必要です。

子どもたちは、日々、学校で様々な経験を通して、その経験を積み重ねて成長をしています。また、子どもの成長には、学校だけでなく、家庭や地域等での経験も全てが関わっています。子どもたちが自身の力を高めていけるよう、学校・家庭・地域でともに育てていくということが大切です。

学校では、一人一人の力を伸ばしていくということを大切にして取り組んでおります。本年も本校の教育活動に際して、御理解・御協力をお願いいたします。

また、長期のお休みの後は、お子さんの中には久しぶりの学校ということに少し不安を感じていることがあるかもしれません。お子さんの様子を見ていただき、気になることがありましたらお知らせください。

1月の祝日

元日 1月1日 年のはじめを祝う。

成人の日 1月9日 おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝い
上げます。

【参考】国民の祝日に関する法律